

City of Sapporo

スポーツのチカラ × まちのミライ

THE POWER OF SPORTS × FUTURE OF THE CITY

vol.30

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。このようなスポーツによるまちづくりについて、株式会社コンサドーレ代表取締役社長の石水創さんにお話を伺いました。



石屋製菓(株)代表取締役社長 / 株式会社コンサドーレ代表取締役社長
石水 創さん

1982年生まれ、札幌市出身。2004年に東洋大学法学部経営法学科を卒業後、石屋製菓(株)に入社。2013年に石屋製菓(株)、石屋商事(株)代表取締役社長に就任。2025年1月より株式会社コンサドーレ代表取締役社長に就任。

人とまちを動かすスポーツのチカラ ともに描く北海道の未来の景色

心に刻まれた情熱の記憶
夢を追う道のはじまり

私とコンサドーレとの出会いは、中学3年生の時。クラブが誕生した1996年、開幕戦となるアウェー・福島FC戦を現地で観戦しました。スタジアム全体がひとつになって湧き上がる熱気、見知らぬ人たちと喜びを分かち合う一体感。胸が震えるようなあの光景は、今でも心に焼きついていきます。地元のプロチームがあるということが、こんなにも誇らしく胸を熱くするものが、人の心を動かす、つなぎ、力を与える——そんなスポーツのチカラに触れたあの瞬間が、今も変わらぬ私の原点です。

まちとクラブが手を取り合って
次世代に夢と誇りを届けたい

2025年1月にコンサドーレの社長に就任し、クラブと地域がともに未来を育てていく意義を日々感じています。北海道初のプロスポーツチームとしての誇り、そしてクラブ・サポーター・パートナー企業が三位一体で支え合う「ファミリア」のような関係性は、私たちの何よりの財産です。良い時も悪い時も寄り添い合い、夢や目標を共有しながら、北海道に元気を届ける存在でありたい。そのために、「11昇格と経営の安定化は喫緊の課題です。また、地元の子どもの夢の足がかりとなるよう、育成環境も整えていきたいと考えています。そしていつの日か、まちや市民の熱量がひとつになり、地域に根ざしたサッカー専用スタジアムという誇りの拠点が実現したなら——。そんな心躍る未来を、これからも一緒に描いていきたいと思っています。



食や自然など多くの魅力に恵まれた「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴ「サッポロスマイル」です



©1996 CONSADOLE

8/2(土)鳥栖戦と8/16(土)秋田戦は赤黒満員大作戦! 鳥栖戦では、来場者全員に『クラブオリジナルTシャツ(2sides T-shirt)』をプレゼント!

